

東京都ハイブリッド塵芥車導入促進補助金交付要綱

(制定) 平成27年4月24日付27環改車第 94号
(改正) 平成28年9月2日付28環改車第350号
(改正) 平成29年6月27日付29環改車第201号
(改正) 平成30年6月29日付30環改車第185号
(改正) 令和 元年6月 3日付31環改車第130号
(改正) 令和 2年6月15日付 2環改車第158号
(改正) 令和 3年3月29日付 2環改車第527号
(改正) 令和 3年9月 6日付 3環改車第226号

(目的)

第1 この要綱は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）第34条第1項の低公害車・低燃費車の普及促進を図るため、事業者が行うハイブリッド塵芥車の購入に必要な経費について、その一部をハイブリッド塵芥車導入促進補助金（以下「補助金」という。）として事業者に交付するために必要な事項を定めることを目的とする。

(補助対象者等)

第2 補助対象事業、補助対象者、補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）並びに補助金の額及び補助限度額は、別表によるものとする。

(補助金の交付申請)

第3 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、東京都ハイブリッド塵芥車導入促進補助金交付申請書（別記第1号様式）を東京都知事（以下「知事」という。）に提出するものとする。

2 前項の申請書には、次に掲げる書類を添付するものとする。

- (1) 前事業年度の全事業に係る損益計算書及び貸借対照表
- (2) 主な事業の内容が記載された資料
- (3) 車両購入契約書又は見積書
- (4) その他参考となる書類

(補助金の交付決定及び通知)

第4 知事は、第3第1項の申請書の提出があったときは、速やかに当該申請書に係る書類を審査し、その内容を適当と認めるときは、東京都の当該年度の予算の範囲内で補助金の交付を決定するものとする。

2 知事は、補助金の交付を決定したときは、速やかに東京都ハイブリッド塵芥車導入促進補助金交付決定通知書（別記第2号様式）により、補助金交付決定額その他必要な事項を申請者に通知するものとする。

(変更承認申請等)

第5 申請者は、第4第2項の補助金交付決定通知を受けた後、補助金交付決定額の変更を必要とするとき又は補助対象事業を中止し、若しくは廃止しようとするときは、東京都ハイブリッド塵芥車導入促進補助事業（変更、中止・廃止）承認申請書（別記第3号様式）を知事に提出し、その承認を受けるものとする。

（変更決定及び通知）

第6 知事は、第5の申請があったときは、補助金交付決定額の変更を行うことができる。

2 知事は、補助金交付決定額の変更をしたときは、東京都ハイブリッド塵芥車導入促進補助金交付決定額変更通知書（別記第4号様式）により、第5の申請をした者に通知するものとする。

（実績報告）

第7 申請者は、補助対象事業が完了したとき又は補助金の交付の決定に係る会計年度が終了したときは、速やかに東京都ハイブリッド塵芥車促進補助事業実績報告書（別記第5号様式）を知事に提出するものとする。

2 前項の報告書には、次に掲げる書類を添付するものとする。

- (1) 契約書の写し又はこれに代わるもの
- (2) 領収書の写し又はこれに代わるもの
- (3) 購入車両の車検証の写し
- (4) その他参考となる書類

（補助金の額の確定）

第8 知事は、第7第1項の実績報告書の提出があったときは、当該実績報告書の審査及び必要に応じて行う現地調査により、その報告に係る補助対象事業の成果が補助金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、速やかに東京都ハイブリッド塵芥車促進補助金額確定通知書（別記第6号様式）により申請者に通知するものとする。

（補助金の交付及び請求）

第9 補助金の交付は、第8による補助金の額の確定後とする。

2 申請者は、補助金の交付を受けるため、第8による補助金の額の確定通知書を受けた後、速やかに請求書（別記第7号様式）を知事に提出するものとする。

（決定の取消等）

第10 この補助金の交付の決定後、次の各号の一に該当すると認められる場合には、補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。
- (2) 補助金を他の用途に使用したとき。
- (3) 補助対象事業を中止し、又は廃止したとき。
- (4) 予定の期間内に事業を着手せず、又は完了しないとき。

- (5) 交付決定を受けた者（法人にあっては、代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員を含む。）が、別表の補助対象者の欄に規定する暴力団員等又は暴力団に該当するに至ったとき。
 - (6) その他補助金の交付の決定の内容又はこれに付した条件その他法令又はこの要綱に基づく命令に違反したとき。
- 2 前項の規定は、補助金の額の確定を行った後においても適用があるものとする。
 - 3 知事は、申請者が第1項第1号、第2号、第5号又は第6号に該当した場合、申請者等の名称及び不正の内容を公表することができる。

（財産処分の制限）

- 第11 申請者は、補助対象事業により取得した財産（以下「取得財産」という。）については、補助対象事業の完了後においても、善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図るものとする。
- 2 申請者は、知事の承認を受けずに、取得財産をこの補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、廃棄し、貸し付け、又は担保に供してはならない。ただし、取得財産が減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）で定める耐用年数を経過した場合は、この限りでない。
 - 3 申請者は、前項の処分をしようとするときは、あらかじめ、財産処分承認申請書（別記第8号様式）を知事に提出し、その承認を受けるものとする。
 - 4 知事は、処分を承認したときは、速やかに財産処分承認書（別記第9号様式）により、前項の申請をした者に通知するものとする。
 - 5 前項の通知を受けた者は、補助金等交付財産の財産処分承認基準（平成29年10月4日付29財主財第138号）第3 1に該当する場合を除き、同基準第3 2により算出した補助金相当額を東京都に納付するものとする。

（帳簿の保存）

- 第12 申請者は、補助対象事業に関する収支を明らかにした帳簿を備え、補助対象事業の完了後5年間保存するものとする。

（その他）

- 第13 この要綱に定めるもののほか、この補助金の交付に必要な事項については、東京都補助金等交付規則（昭和37年東京都規則第141号）の定めるところによる。

附 則

この要綱は、平成27年4月28日から施行し、平成27年度の補助金から適用する。

附 則

- 1 この要綱は、平成28年9月5日から施行し、平成28年度の補助金から適用する。
- 2 平成28年4月1日から同年9月31日までの間にあっては、補助金の交付申請の前に、補助対象車両のハイブリッド塵芥車の初度登録をすることができる。この場合、補助金の交付申請及び実績報告を施行の日から起算して3か月以内に知事に提出する

ものとする。

附 則

- 1 この要綱は、平成29年6月27日から施行し、平成29年度の補助金から適用する。
- 2 平成29年4月1日から同年7月31日までの間にあつては、補助金の交付申請の前に、補助対象車両のハイブリッド塵芥車の初度登録をすることができる。この場合、補助金の交付申請及び実績報告を施行の日から起算して3か月以内に知事に提出するものとする。

附 則

- 1 この要綱は、平成30年6月29日から施行し、平成30年度の補助金から適用する。
- 2 平成30年4月1日から同年7月31日までの間にあつては、補助金の交付申請の前に、補助対象車両のハイブリッド塵芥車の初度登録をすることができる。この場合、補助金の交付申請及び実績報告を施行の日から起算して3か月以内に知事に提出するものとする。

附 則

- 1 この要綱は、令和元年6月3日から施行し、令和元年度の補助金から適用する。
- 2 平成31年4月1日から同年6月30日までの間にあつては、補助金の交付申請の前に、補助対象車両のハイブリッド塵芥車の初度登録をすることができる。この場合、補助金の交付申請及び実績報告を施行の日から起算して3か月以内に知事に提出するものとする。

附 則

- 1 この要綱は、令和2年6月15日から施行し、令和2年度の補助金から適用する。
- 2 令和2年4月1日から同年6月30日までの間にあつては、補助金の交付申請の前に、補助対象車両のハイブリッド塵芥車の初度登録をすることができる。この場合、補助金の交付申請及び実績報告を施行の日から起算して3か月以内に知事に提出するものとする。

附 則

- 1 この要綱は、令和3年3月29日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、令和3年9月6日から施行し、令和3年度の補助金から適用する。
- 2 令和3年4月1日から同年9月30日までの間にあつては、補助金の交付申請の前に、補助対象車両のハイブリッド塵芥車の初度登録をすることができる。この場合、補助金の交付申請及び実績報告を施行の日から起算して3か月以内に知事に提出するものとする。

(別表)

補助対象事業	補助対象者	補助対象経費	補助金の額及び補助限度額
ハイブリッド塵芥車の導入事業 ※1	1 次に掲げる個人又は法人 (1) 中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号に規定する中小企業者(国又は地方公共団体が出資する会社を除く。)のうち、東京都が定める「東京における産業廃棄物処理業者の適正処理・資源化の取組に係る優良性基準適合認定制度」の第三者評価機関である公益財団法人東京都環境公社から認定を現に受けている事業者 (2) (1)に規定する中小企業者が使用するハイブリッド塵芥車を所有する自動車リース事業者(事業用自動車の貸渡しを業とする者をいう。) 2 次に掲げる個人又は法人は、補助の対象としない。 (1) 暴力団員等(東京都暴力団排除条例(平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。)第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。以下同じ。) (2) 暴力団(暴排条例第2条第2号に規定する暴力団をいう。) (3) 法人の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等に該当する者があるもの ※2	令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業)交付規程に基づき公益財団法人日本自動車輸送技術協会が行う補助金の交付額として算定される額 ※3	1台当たりの補助金の額は、補助対象経費の1/2とする。ただし、195千円を補助限度額とする。 ※4

※1 補助対象となるハイブリッド塵芥車は、回生エネルギーをバッテリーに蓄え、そのエネルギーをパッカー部分の動力として使用できる車両であって、次に掲げるものとする。

- (1) 東京都内に使用の本拠の位置を有し、補助金の交付決定前に道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第4条の規定による登録を受けていない車両
- (2) 最大積載量が4t未満の車両
- (3) 自家用に供される車両

※2 1(1)の認定を受けている事業者とは、産廃エキスパート又は産廃プロフェッショナルの認定を受けている者をいう。

※3 補助対象経費に係る消費税のうち、仕入控除を行う場合における仕入控除の対象となる消費税相当額については、補助対象としないものとする。

※4 補助金の額に千円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。